

## 採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進  
課題名： アフリカにおける「顧みられない熱帯病 (NTD)」  
対策に資する多重感染症の一括診断法の開発  
代表者名： 金子 聡  
所属機関名： 長崎大学

---

## コメント

本提案は、アフリカ諸国で大きな問題となっているものの欧米先進諸国において問題にならないために「顧みられない熱帯病 (NTD)」と呼ばれる多くの感染症を対象として、抗原・抗体を収集し、マルチプレックス法による一括診断法を開発し、ケニアの機関と共同で診断法の有効性を確認するとともに、実用化への導入として西ケニア地域でNTDの実態把握を行おうとする取り組みである。複数回の検査が難しい地域での一括検査を目指しており、これまで顧みられて来なかった多くの熱帯病の診断・治療・予防への道を拓く試みとして高く評価される。我が国の科学技術のアフリカ諸国への貢献や、政府間の協力関係構築への発展も期待される。

なお、目的とする診断キット開発には、技術上の問題のみならず、その簡便性、経済性の追求が重要である。フィールド調査を重ねることによって実情にあった改良を重ねることを期待する。また同様の観点から、当面どれだけの熱帯病を対象とするかを明確にして、計画を具体化されることを望む。さらに、設置されている長崎大学ケニア教育研究拠点における研究との連携や、期間終了後の継続性についても念頭において、本共同研究を展開されるよう希望する。